

ケアハウス山科

だより

2025

3

Vol.313

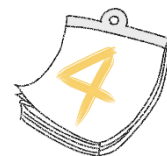


「協調と和」そして「コミュニケーション」を大切にしながら
日々の生活に潤いあるサービスをサポートします



3月の予定

- ◆3/30（日）『誕生者を祝う会』



4月の予定

- ◆4/6（日）『健康診断』（8：30～12：30）
- ◆4月『誕生者を祝う会』
- ◆令和7年度『運営懇談会』を行います
- ◆『お花見散歩』を予定しています
※開催日など詳細は掲示物にてお知らせいたします



施設からのお知らせ

- ◆『運営懇談会』開催について。次年度（令和7年度）も継続する形で開催いたします。入居者の皆様の日々の生活に潤いあるものとなるよう、これまで以上により良い施設運営となるよう、皆様のご意見をお聞かせください。生活面での困りごとや、食事面でのご意見など、些細なことでも何でも結構です。広く皆様のお声をお聞かせくださると幸いです。開催日など詳細決定次第、掲示物にてお知らせいたします。
- ◆4月『健康診断』の実施を予定しています。詳細は決定次第、掲示物にてお知らせいたします。尚、健康診断については、かかりつけの医療機関で受けて頂いても結構です。その場合は、事前にお知らせ頂きますようお願いいたします。
- ◆春は日々の寒暖差や、低気圧と高気圧が頻繁に入れ替わる気圧変動が大きい季節です。体調の変化に注意して、元気におすごしください。

お花見散歩

4月『お花見散歩』を予定しています。

暖かい陽気の中、桜を見ながらゆっくりとした時間をすごしませんか？
実は桜の穴場名所が点在している山科区。施設周辺でも綺麗な所が沢山あります。
詳細決定次第お知らせいたします。ぜひ、ご参加ください。



SNSで魅力発信中！
ぜひ覗いてみてください



公式LINE



Instagram



ホームページ

施設の様子

3月3日(月)『ひなまつり』



昼食には、ひなまつり特別メニューを召し上がっていただきました！
海鮮ちらし寿司、蛤のお吸い物、茶碗蒸しをご提供。
入居者様に喜んでいただけました♪

春を感じていただけるよう願いを込めて。

女の子の健やかな成長と幸福を願う、桃の節句の行事を指す『ひなまつり』。
もともとは「上巳の節句」と呼ばれる五節句のひとつで別名「桃の節句」。ひな人形を飾り、ちらし寿司や蛤のお吸い物などの縁起物の膳でお祝いします。

そんな、ひなまつりの『ひな』という言葉...
『ひな』という言葉には「小さいもの」「かわいらしいもの」といった意味があります。

施設玄関前には職員手作りのひな人形を飾りました。
小さくて、可愛らしい、まさに『ひな』を表すような『ひな人形』となりました♪



Pickup 『ゲームの会』



『ゲームの会』という名称のクラブ活動の一コマ。
トランプや将棋、花札などなど。お好きな物で楽しんでいただくことを目的としたクラブの時間。時には職員も参加して、一緒に楽しいひと時をすごされています。

そんな中『ジェンガ』で盛り上がりおられる入居者様。ハラハラドキドキ...
「わー」「キャー」と、声を上げながらも楽しんでおられました♪
白熱したゲームの様子は写真じゃ伝わりにくい...そんな緊迫した様子を動画にてインスタグラムにアップしています。皆様もぜひ、ご覧ください！

～皆様を玄関口でお出迎え～

『施設を彩る花々たち』

♪梅は咲いたか 桜はまだかいな♪

日照時間が少しずつ長くなり、春らしい日差しになってくる3月。
春を感じられるには、まだまだ寒い日はありますが、それでも段々と気温は上昇傾向にあります。



皆様をお出迎えするように色とりどりのお花が咲き始めています♪

ビオラ、パンジー、スイートピー、すいせん、花かんざし...
施設の玄関の植栽は、寒さの中でも少しずつ大きく育ってきています。
入居者様と職員は「こうしたらいいかな?」「ああしたらいいのかな?」と、お話しする機会にもなったり。

「綺麗に咲いてるね」と言っていただけたりすると、春もそこまで近づいているのだと実感します。

4月には『お花見散歩』も予定しています。
暑さ寒さも彼岸まで...暖かな日差しに包まれる、
本格的な春の訪れを一緒に楽しみましょう！



職員あれこれ

エッセイ



皆様こんにちは。厨房職員です。

今年の冬は寒い日が続きましたね。数年に1度の寒波や大雪が降るなどといわれ、京都市にも珍しく雪が積もりましたよね❄️

ちょうど京都が数年ぶりの大雪の頃、私は韓国に旅行に行っておりました➡️近年、インターネットの普及により飛行機や宿泊施設なども自分達で予約する事ができ気軽に旅行が出来る様になってきました。

京都が寒波に見舞われとても寒い時、韓国は気温でいうと最低気温がマイナス10度、最高気温がマイナス6度と、外を歩く時とても寒く手袋をしても意味がない位、手が冷たすぎて辛い！と思っていたのに韓国の方は、寒い中手袋もせずに素手でアイスコーヒーを片手に歩いておられました。他の方を見ても手袋をしているのは観光客ばかりで、韓国の方は手袋をされていない…普段から寒いので慣れているのか、キムチや辛い料理を食べているから体がぽかぽかしているのかな？なんて事を考えながら韓国の街並みを歩いていました。



日々是好日

コラム

ケアハウスだよりに込める思い ~他の広報紙と何が同じで何が違うのか~

「広報紙」とは、企業・学校・自治体などの団体が活動内容や経営（運営）方針を周知するために情報をまとめた制作物を指します。ただ、私たちケアハウスにとってはそれだけの意味合いだけではありません。私たちが発行する『ケアハウスだより』の意図は、入居者の皆様へお知らせすべく情報はもちろん、入居者様の日々のご生活の様子をお伝えすることにより、ご家族様に少しでも安心していただければという思いがあります。もちろん、直接手にされる入居者様には楽しんで読んでいただけるように、記事の中身なども厳選し、なるべくわかりやすい内容に仕上がることを目指しています。

これまで、この広報誌は幾度かリニューアルを重ねてきました。今年度も紙面構成など大きく変更を行い、職員によるリレー形式でのエッセイのコーナーも始めました。担当である私の気を付けている点として、入居者様が『より読みやすい紙面にする』ということ。リニューアルにおいては、色目を毎月変えて作成しました。色の選定も単に赤、青、緑、黄という色を選ぶのではなく、“和の色”にこだわりました。これは洋の色より『馴染みのある色』を意識したからです。その月をイメージできる色。例えば、春先に咲く紅色の梅の花からつけられた色名の『紅梅色』。古くから和服の織り色としても用いられていた『蒲葡（えびぞめ）色』や『浅葱（あさぎ）色』など。ご高齢な方であっても少しでも見やすい色を意識しました。

これからも皆様に手に取って読んでいただけるよう
工夫を凝らしながら取り組んで参ります。

